

町のあゆみ

写真特集

さようなら昭和四十三年。
江端町政も駆逐に乗り、ことは町にとつたいへん幸運な年
だったようです。卷土木事業所の開放、県立新潟青年の家説教室
大手米糀会の進出、米の大作成、駅舎の完成など明るい二
ユースの連続ヒット。
「ここに町一年のあゆみをぶりかえって歴史特集を組んでみま
した。来る年もよい年でありますように祈りながら……

工場義務に力を入れて、いる町につきつぎと工場の進出が続いている。ですが、巣高校平城の形部川原一萬八千坪、モデルの日本米葉カーナブルボン食品㈱式会社の工場進出が決定され、十月二日の開業式が開催され、以降実工事が行なわれています。

町政新年度早々宿題の巻玉木事務所による開設、さらには隣接町村との広域連携行政によるじんかい競技場および葬祭施設の完成、県立新潟病院の建設、越後湯沢駅決定、年の頃に入つて待望の巻普及完成と多くの難題を抱いて、事項が次々と実現大きな成果を収めました。四月から住民サービス向上を目的に指定金融機関制度を採用、わざわざ役場窓口においてなくとも近くの各銀行協、信組などに納税できるようになります。

江幡町長は町議会とは別に、できるだけ多くの町民から生の声を聞き、町政に反映させるため、市長、部落長会議、婦人のつどいなど、問題などが山積されているおりだけではなく、丸山新教育長の手帳が裁断され切れ的な要望、意見に耳を傾けました。たたかさどする教育長による教育行政をつかさどる教育長に丸山清六氏が就任しました。学校、社会問題などが山積されているおりだけ丸山新教育長の手帳が裁断され切れ的な要望、意見に耳を傾けました。

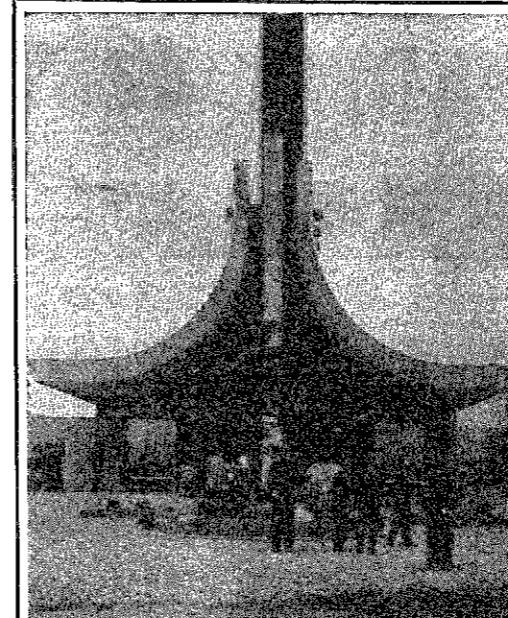
のいたせいな話し合い

同社は、一貫した流れで作業をやりとり、本格的な営業開始は昭和十四年四月二十日ころが予定さられています。

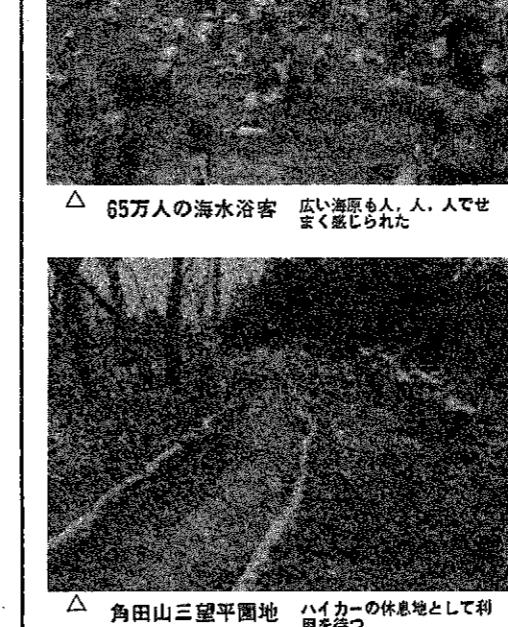
昨年に引き続き根柢つきの新規開拓といわれるアーチ型の距離帯が伸びました。二の丁銀座商店街は、期工事として佐理髪店から時計店までの五十五メートル、古寺商店から大光相互銀行間の三十三メートル、中央商店街は本國呉服店から福安家真衣店の八十三メートルなどをアーケードが完成。一段と商店街が美しくなりました。

シーズン中の海運、船舶の絶対需要は、年々増加の一途を辿っています。

それで、一層安全な楽しい海水浴場として人気を呼ぶことでしょう。また、豊かな観光資源にめぐまれ、季節観光から脱皮をめざす所では角田山開発に乗り出していますが、ことしは角田山三望平ヶ島園地化して、周囲に園路をめぐらしくし、ベンチを設置、来シーズンからハイカーに新潟平野、佐渡ヶ島のすぐれた景色をながめてもらうこと



モダン葬祭場 いちどに三体の火葬ができる
組合立葬祭場



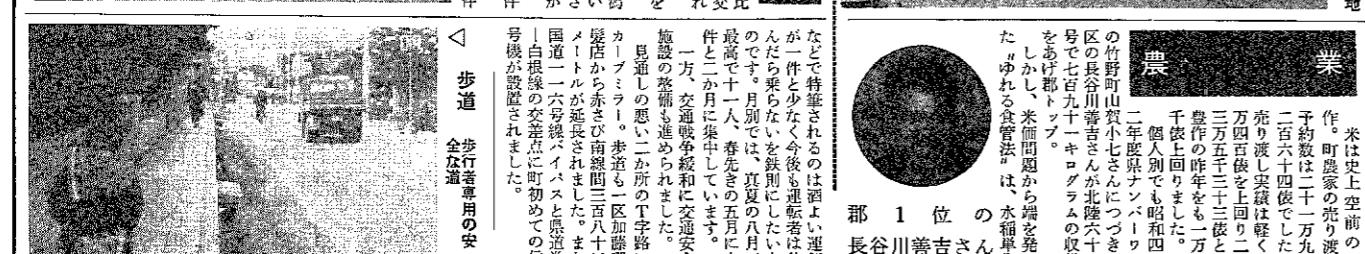
用庄博士



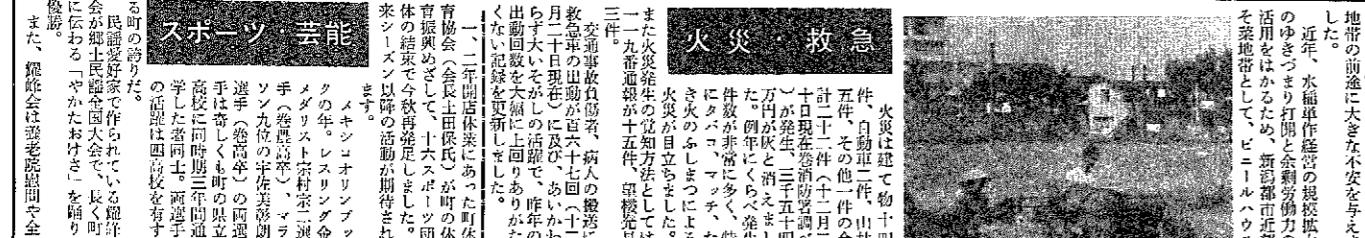
△ 県青年の家建設地 県議会は建設地の越前浜へ視察に訪れ、よい環境に満足



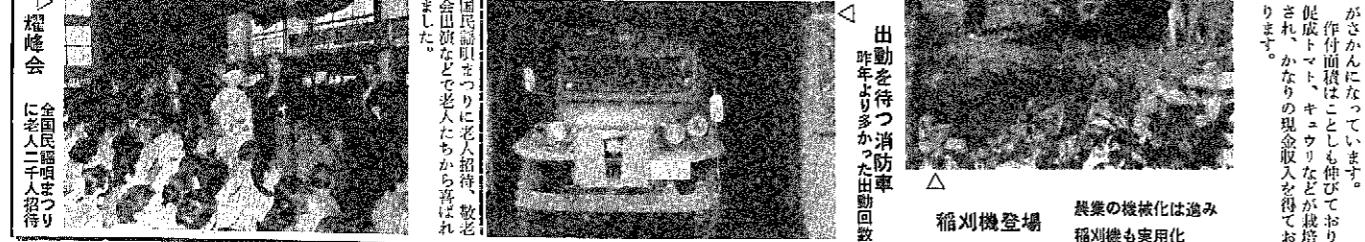
△ 町道東仲江通り舗装 このほかに伊勢屋小路も舗装された



信巻た二里に 全 九がも狹転 作し 犬六十十 五、十二が干し豊



久遠の大
木の根元に生じて、根はるん付生じ西へ二首林四



Digitized by srujanika@gmail.com

